

藤女子大学 未来共創フォーラム 2021

参加費無料

フェアトレードとはどういった活動を指すのか、その活動の意義はどこにあり、私たちの生活とどのような関連があるのか、国内外で活躍する講師の方の実践例を元に、新たな知見の共有を目指していきます。

2021年

7/17 土 13:00~16:00

テーマ フェアトレードと
私たちのこれから
— 国内外の実践例と女性からのまなざし

報告者 (報告順 敬称略)

上原 賢司 (藤女子大学文学部文化総合学科 准教授)
「フェアトレード—「公正」で「倫理的」な貿易とその意義」

有坂 美紀 (フェアトレードタウンさっぽろ戦略会議 事務局長)
「“まちぐるみ”で取り組むフェアトレードタウン」

川口 景子 (NPO法人アーシャアジアの農民と歩む会 インド事務局長)
「インド農村女性の活躍の場と内面的成長
—現場の活動報告と課題から」

奥村 昌子
(藤女子大学人間生活学部食物栄養学科 准教授)
「子どもの命と食。そしてフェアトレード
—北インドの母子保健活動を例に」

報告終了後、15:30から30分ほどの時間で報告者と参加者との意見交換を予定しています。

開催方法 Zoomによるオンライン開催 対象 本学学生、本学卒業生、地域の方、関心のある方

参加申込 お申込みは随時受け付けます。下記のURLまたはQRコードからお申込みください。
<https://forms.gle/pvQmKzz6VNcz7DFD7>

申込締切 7月15日(木) [お申込みいただいた方へ、7月16日(金)にメールにてZoomのURLをお送りします。]



100th
Co-Creating the Future of
Fuji
1925-2025

世界的にも、そして私たちの暮らす地域においても、フェアトレードへの関心は近年高まり続けています。このフェアトレードは、「持続可能な開発目標(SDGs)」で重視されている「サステナビリティ」という面からも期待される実践の一つです。身近な話としても、2019年に札幌市が国内で5番目となるフェアトレードタウンに認定される、といった出来事がありました。このように、フェアトレードという言葉は私たちにとって馴染みあるものになってきていますし、世界的にも重要な取り組みの一つとみなされるようになってきました。

とはいえ、このフェアトレードについて、その言葉を聞いたことはあったとしても、その内実に関して私たちはまだまだ「良く知らない」のかもしれませんが。フェアトレードとは、こういった活動を指すものであり、その活動の意義はどこにあるのでしょうか。そして、私たちのこれからの生活とどのように関連してくる(させるべき)活動であると考えられるのでしょうか。

本講座では、フェアトレードの国内外の実践例を中心に、このアイデアの意味や意義について迫っていきたいと思います。本講座では特に、女性の視点や生活とフェアトレードとの関係に着目していきます。それによって、フェアトレードについて「良く知らない」方はもちろんのこと、「ニュース等を通じて良く知っている」方にとっても興味を持てる、新たな知見の共有を目指していきたいと思います。

報告者プロフィール (報告順 敬称略)



上原 賢司 (藤女子大学文学部文化総合学科 准教授)

専門は政治理論、グローバル正義論。著書・論文として、『グローバルな正義——国境を越えた分配的正義』(風行社、2017年)、「グローバル正義論と「公正」な貿易」『思想』(第1155号、2020年)など。



有坂 美紀 (フェアトレードタウンさっぽろ戦略会議 事務局長)

水産業界紙記者、環境団体/NGOスタッフなどを経験。現在は、国連大学認定の持続可能な開発のための地域拠点・RCE北海道道央圏協議会事務局長、フェアトレードタウンさっぽろ戦略会議事務局長、酪農学園大学/東海大学非常勤講師、Co. DESIGN代表等を務める。北海道大学大学院理学院自然史科学修了。



川口 景子 (NPO法人アーシャ=アジアの農民と歩む会 インド事務局長)

明治学院大学国際学部国際学科学士課程卒業。フィリピン大学ロスバニョス校Public Affairs学部地域教育学科ノンフォーマル農業教育専攻・修士課程卒業。2004年から北インド・ウッタルプラデシュ州プラヤグラージ県の農村開発の現場に携わっている。



奥村 昌子 (藤女子大学人間生活学部食物栄養学科 准教授)

本学を卒業後、保健センター、刑務所にて管理栄養士として勤務。その後、酪農学園大学、北海道情報大学にて勤務。専門は、地域栄養、国際保健。北インドの母子保健活動に従事。JICA(独立行政法人国際協力機構)など社会的活動多数。